

19-4 環境影響評価【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 「改正環境影響評価法」（平成23年法律第27号）に基づく環境影響評価手続について、主要な段階ごとに、その要点を述べよ。

Ⅱ-1-2 「改正環境影響評価法」（平成23年法律第27号）で、環境影響評価方法書の手続きに関して新たに設けられた主な事項を挙げ、各々の要点を述べよ。

Ⅱ-1-3 「環境影響評価法」の規定に基づき計画段階配慮書を作成する際に求められている複数案の設定についての基本的な考え方の要点を述べよ。

Ⅱ-1-4 放射性物質の扱いについて「環境影響評価法」が平成25年に改正されたが、その理由と主な改正事項について述べよ。また、環境影響評価で放射性物質を取り扱うに当たって留意すべき基本的な考え方を3点挙げ、その要点を述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 環境影響評価における測定や予測等における不確かさの表現が重要な課題になっていることから，環境調査等に従事する技術者として業務を進めるに当たり，以下の内容にどのように対応するか記述せよ。

- (1) 不確かさの考え方と，環境影響評価における不確かさの表現のあり方
- (2) 想定する対象事業について，生活環境に係る評価項目（大気質，騒音・低周波音，振動，悪臭のうちから１つ）の不確かさの検討において留意すべき成分

Ⅱ－２－２ 「環境影響評価法」の対象事業についての環境影響評価で，環境保全措置を検討する業務の対象者となった場合，以下の内容にどのように対応するか記述せよ。

- (1) 環境保全措置での回避，低減，代償について，その概要と考え方
- (2) 事業を１つ想定の上，その事業の規模と内容を設定して，影響が著しいと考えられる環境の構成要素に係る項目（大気質，水質，動植物，景観など）を１項目検討するとした場合，想定した事業の名称，事業の規模と内容，選定した環境要素に係る項目名とその理由
- (3) 環境保全措置を検討する際の手順，代表的な環境保全措置，配慮すべき事項や留意点

19-4 環境影響評価【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 廃棄物最終処分場，高速自動車国道及び火力発電所のうち1つを選択し，その事業が市街地周辺地域（主に農用地，里山地域）に計画される場合に，次に示す環境影響評価における環境要素のうち特に影響が大きいと考えられる項目を2項目選定（区分A～Dの中から，異なる2つの区分を選定すること。）し，以下の問いに答えよ。

【環境要素】

- A：環境の自然的構成要素の良好な状態の保持（大気環境，水環境，土壌環境・その他の環境）
- B：生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全（動物，植物，生態系）
- C：人と自然との豊かな触れ合い（景観，触れ合い活動の場）
- D：環境への負荷（廃棄物等，温室効果ガス等）

- (1) 選択した事業の種類，選定した環境要素2項目について，その理由を記述せよ。
- (2) (1)の環境要素に係る項目ごとに，調査，予測，評価及び事後調査の手法と課題をとりまとめ，その技術的な対応策を提示せよ。
- (3) 環境影響評価の実施時には想定されなかった影響が，事業実施後に顕在化した場合の対応を提示せよ。

Ⅲ－２ 2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることになったが、開催に伴い環境への負荷が懸念されることから、地域の環境を保全するため、以下の問いに答えよ。

(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に当たっては、環境影響評価において基本的にどのような検討が必要であるかを3項目に整理して論述せよ。

なお、2020年東京オリンピック・パラリンピックの会場計画の概要は、以下のようである。

<ul style="list-style-type: none"> * 競技施設となる全37施設のうち、選手村から8 km圏内に、85 %のメインスタジアムや競技場などを配置 * コンパクトで集中した会場配置→東京ベイゾーン（臨海部）には9つの競技会場を新設 * この圏外に、武蔵野の森総合スポーツ施設を新設（この武蔵野の周辺の植生は、雑木林：「コナラ-クヌギ」を中心とする代償植生の落葉広葉樹林）

(2) 東京都が作成した環境ガイドラインでの基本的な考え方では、基本目標として3つの項目が挙げられており、このうちの「環境負荷の最小化」及び「自然と共生する都市環境計画」の2つの項目について、次に示す2つの施設の環境影響評価での環境配慮に関する検討内容を施設別に論述せよ。

オリンピックスタジアム	武蔵野の森総合スポーツ施設
<ul style="list-style-type: none"> * 東京都新宿区に現存する国立競技場の位置に新設 * 開・閉会式，陸上競技，サッカー，ラグビーを開催 * 新設恒久会場 * 総座席数：30,000席 	<ul style="list-style-type: none"> * 東京都西部の多摩地域に新設 * 近代五種競技を開催 * 新設恒久会場 * 総座席数：8,000席